

2024年 おやじの山旅 東北南部の山  
(2024年6月21日~6月26日)



大朝日岳登頂 1871m (6月22日 11時00分)

## 1.趣旨

長年デンソー山岳部で活動した仲間達が定年を迎えた。  
その仲間達で2016年におやじの山旅を立ち上げた。  
かけがえのない仲間達でこれからも山を楽しみたい。(その9年目)

## 2.コンセプト

山を通して自然・郷土料理、現地の人とのふれあいを楽しむ。

## 3.計画

山域・山名 東北(南部)の山 2座  
大朝日岳、祝瓶山

\*祝瓶山は天候悪く、参加メンバーの協議にて中止

期間 2024年6月21日(金)～6月26日(水) 6日間

### 参加者と役割分担

No.	氏名	役割	登山担当リーダー	保険	生年月日	年齢	血液
1	金子 清	CL・渉外	大朝日岳	登山S	1955/5/10	69	A
2	藤田 勝啓	SL・装備		登山S	1953/6/6	71	B
3	町田 修	SL・地形・記録		登山S	1955/9/5	68	B
4	津田 廣一	記録(正)	祝瓶山⇒観光 (天候悪く、中止)	登山S	1953/6/20	71	O
5	竹内 幹雄	気象・写真		ハイ1	1951/10/26	72	O
6	天野 広	会計		登山S	1955/4/25	69	AB
7	上田 正博	記録(副)		ハイ1	1950/5/23	74	A
8	津田 利栄子	(ゲスト)		ハイ1			



スケジュール(概要)

No.	2024年 月/日	山名	標高 (m)	登山コース	登山行動 時間(h)	担当	宿泊先
1	6/21(金)	(移動)		名古屋空港(小牧)～山形空港～宿			朝日山の家
2	6/22(土)	大朝日岳	1871	(小寺鉱泉～大朝日小屋) ⇒古寺鉱泉～小朝日岳～大朝日岳(往復)	6:00	金子	(大朝日小屋) ⇒朝日山の家
3	6/23(日)	(大朝日岳) ⇒観光		(大朝日岳復路予定) ⇒観光;さくらんぼ狩り	7:00	(金子) ⇒天野	白い森 交流センター
4	6/24(月)	(祝瓶山) ⇒観光	1417	(車道終点～鈴出の水～一の塔～祝瓶山(往復)) ⇒観光	2:00	津田	白い森 交流センター
5	6/25(火)	観光		山形観光	2:00	天野	天童温泉 ホテル王将
6	6/26(水)	観光 (移動)		银山温泉観光 ～山形空港～名古屋空港(小牧)		津田 金子	

行き(6/21)(飛行機);FDA383(JAL4323)名古屋/小牧空港10:55～山形空港12:00

帰り(6/26)(飛行機);FDA386(JAL4326)山形空港16:15～名古屋/小牧空港17:25

\*東北での移動手段:レンタカー1台に便乗

## 東北の山(南部) 登る山(2座)





## 4.思い出の1コマ、1コマ

6月21日 移動日 (小牧空港→山形空谷へ)



山形、曇ってます 山形空港であやめのお出迎え



大朝日岳 古寺登山口 P (4時過ぎで明るい)

6月22日 唯一の晴れの日、大朝日岳を登ったよ!



出発してすぐに朝陽館 (廃屋) が現れる



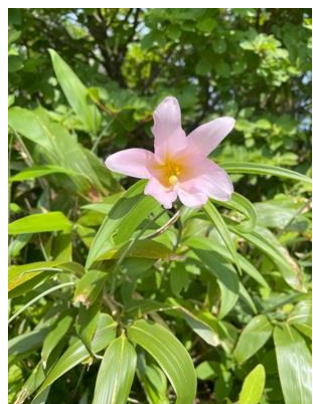
ブナとヒメコマツ



木陰で1本 (メロンで元気モリモリ!)



古寺山でナンパ? (後ろは小朝日と大朝日岳)



ヒメサユリの歓迎?



やっと大朝日小屋 (しばし休憩だ!)



大朝日岳登頂! (金子さん 99 座目 皆、いい顔) 4



上段; イワカガミ、ミヤマキンバイ

下段; ウスユキソウ、ハクサンチドリ



6月23日 昨日、頑張ったご褒美でさくらんぼ狩り



出発前、朝日山の家で記念撮影



さくらんぼ狩り初体験



ハート付さくらんぼ



皆さん、楽しんでますよ～



取り方も色々です



お腹いっぱいになっちゃいました



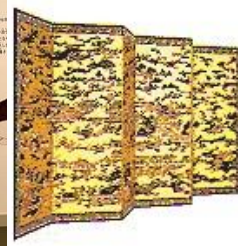
6月24日 天候悪く、祝瓶山登山中止 ⇒ 観光（上杉博物館&米沢城跡）へ変更



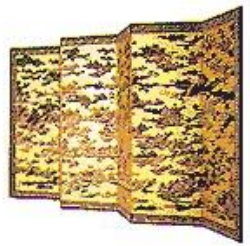
上杉博物館全景



伊達氏と上杉氏の勢力マップ



洛中洛外図屏風



米沢城跡公園へ



上杉神社



上杉神社庭園



上杉神社庭園を眺める面々



6月25日 観光の日（とんでん平ゆり園、爪割石庭公園、山寺立石寺、天童将棋会館）



目覚めると窓の外は雨～



とんでん平ゆり園 綺麗です



花園の中をぶらぶら



爪割石庭公園 凄い！



感嘆しきり



賑わう山寺立石寺



山寺立石寺マップ

6月26日 移動と観光（銀山温泉）



早朝の散歩（天童公園）



天童公園最高点（天童古城記念碑）



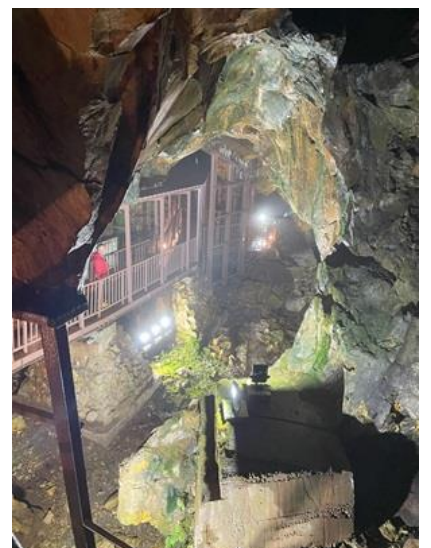
将棋会館外観



銀山温泉（何か懐かしい）



銀山坑へ入ります



銀山坑の中（涼しいな～）



沢沿いの道を散策して・・・



## 5. 行動記録

6/22 (土) 大朝日岳 晴れ

■ルート 古寺鉱泉登山口～古寺山～大朝日岳(往復)

(全行程 16.5km 行動予定 13.0 時間)

### 参加メンバー

CL : 金子清

SL : 竹内幹雄、町田修、天野広、上田正博  
藤田勝啓、津田廣一、津田利栄子



行動 (行動時間 12 時間 20 分 休憩含む)

古寺鉱泉登山口 4 : 30～古寺山 7 : 30-7 : 55

～大朝日小屋 10 : 40-10 : 50～大朝日岳 11 : 00-11 : 35

～大朝日小屋 11 : 40-11 : 50～古寺山 13 : 55-14 : 00～

古寺鉱泉登山口 16 : 50

当初、2 日間で計画していたが 2 日目の天気が雨予報のため急遽日帰り登山に変更した。

3 : 00 起床、宿を 3 : 50 出発、古寺鉱泉登山口駐車場に 4 : 10 到着、身支度を済ませ 4 : 30 出発する。沢沿いをしばらく行くと朝陽館(2019 年に営業終了)に着く、裏手の急斜面の尾根に取付く。3 時間程で古寺山に着く。一気に視界が開け、朝日連峰の大パノラマが望める。小朝日岳は巻き道を通り熊越の鞍部にでる。そこから灌木の尾根を登ると銀玉水に着く。冷たい水は最高にうまい。銀玉水から 40 分程行くと大朝日小屋に着く。山頂へは小屋の裏側に回り、縦走路と合流し南へ向うと大朝日岳山頂に着く。天気も良く 360 度の展望を楽しむことができた。土曜日とあって大勢の登山者で賑わっていた。下山も同じ道に行く。長時間歩行で疲れてきたのでケガの無いよう慎重に古寺鉱泉登山口駐車場まで下る。12 時間 20 分の行動、皆さんお疲れさまでした。

下山後、大井沢温泉 湯ったり館で汗を流し、宿(朝日山の家)へ戻る。

(記 : 金子)



大朝日岳山頂



大朝日岳を望みながら稜線に行く



古寺山山頂



残雪の稜線



大朝日小屋

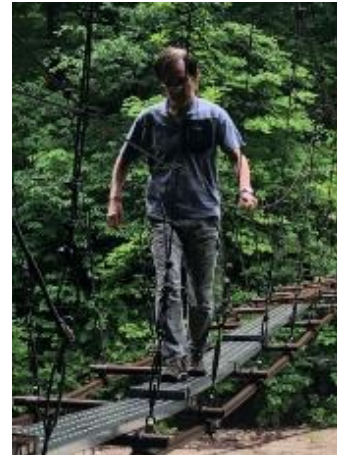


6/23 (日) さくらんぼ狩りと祝瓶山登山口偵察 曇り時々雨

■行動

8:30 朝日山の家(宿) 発 → 10:45 山形チェリーランド着 → 11:10~11:50 さくらんぼ狩り  
→ 13:30 ぶな茶屋で食事 → 14:15 祝瓶山登山口 → 15:30 白い森交流センターりふれ(宿) 着

今日は大朝日岳の予定を日帰りとしたため、時間があるのでさくらんぼ狩りに行きました。私は初めての事でうきうきです。農園を「山形チェリーランド」に決め到着しました。結構大きな農園です。駐車場が満車で少し待ってから駐車できました。順番待ちの間に味見をしたりして待つと20人くらいが呼ばれ、持ち帰りは厳禁とか説明がありました。少し歩いた場所に案内されました。今日初めて解放する畑との事で、綺麗なさくらんぼが一杯実っています。品種は佐藤錦という説明でしたが、この農園で開発された大将錦の木も2本ありました。奥にある大将錦の実がとても甘くて酸味もなく、とっても美味かったです。佐藤錦と合わせ100個くらい食べました。腹いっぱい食べとても満足しました。宿に向かい道の駅で蕎麦の昼食を取り、明日登る予定の祝瓶山登山口の偵察をしました。最初に「日本一怖い吊り橋」と呼ばれる橋を試しに渡ってみました。板の幅が25cm程しかなく、また最初の板が固定されていなく結構怖いです。今までの吊り橋で一番怖かったです。 (記:天野)





6/24日(月) 米沢上杉博物館&米沢城跡(上杉神社) 曇り

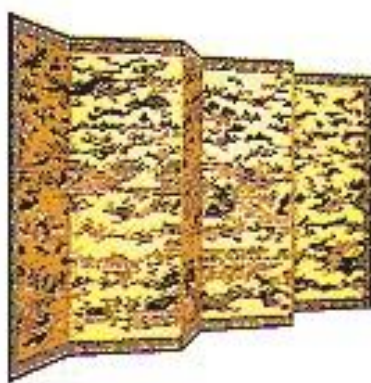
■行動

8:30 白い森交流センターりふれ(宿) 発 → 10:30 米沢P着 → 10:40~11:50 上杉博物館見学  
→ 12:00~12:40 昼食 → 12:40~13:30 米沢城跡 → 15:00 白い森交流センターりふれ(宿) 着

前日は、祝瓶山へ登る段取りで、朝食を弁当に変えてもらっていたが、朝起きるとザ～ザ～と降っている。諦めがついた。朝風呂へ入って、皆に「今日も観光にする」旨を伝える。宿のサービスで、みそ汁とコーヒーを出してもらって、朝食代わりの弁当を食べる(少し悲しい～)。宿をゆっくり、8時半に出る。前日、雨予報から観光の時の行先を相談していたので、それに従って米沢へ。まずは上杉博物館を見学。綺麗でりっぱな博物館だ。エントランスを入るや能舞台の一端が目に入って吃驚。鷹山シアターの上映時間まで、15分程時間があつたので、まずは常設展示を各自で見回す。上映時間になったので、鷹山物語を17分視聴。改めて鷹山の偉大さを思い知らされた。その後、専門の方にレプリカではあるが、狩野永徳の「洛中洛外図屏風」の説明を聴き、充実の見学を終えた。近くのレストランで昼食を食べる。せっかくなので、米沢牛のランチに舌づつみ。午後は、米沢城址(上杉神社)を1h弱、ゆっくりと散策する。鷹山に対する知識を深めて宿へ戻った。祝瓶は登れずも満足の1日だった。(記;津田)



上杉博物館へ向かう



国宝「洛中洛外図屏風」



米沢牛のランチ(美味かった!)



上杉鷹山像



世界でも評価された鷹山

キャロリン・ブービー・ケネディ 中日米大使  
(ケネディ元大統領の娘)



上杉謙信像の前で

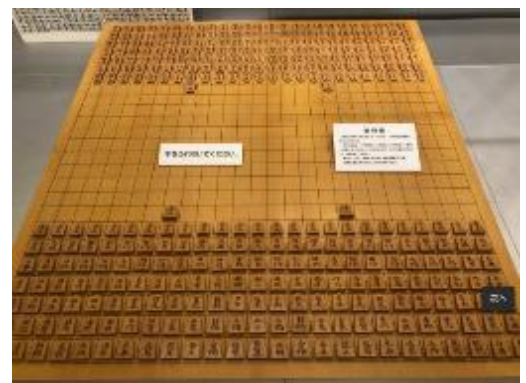


## 6/25 (火) 観光 曇り時々雨

### ■行動

8:30 白い森交流センター (宿) 発 → 9:20 飯豊のとんでん平ゆり園 → 11:00 瓜割石庭公園 → 13:20 立石寺 → 15:00 将棋資料館 → 16:00 天童温泉ホテル王将

予定には無かったが今朝のNHKテレビで「とんでん平ゆり園」が見ごろを迎えているとの情報があり寄り道する事にした。ゆりはとてもきれいだったが、香りは少なかった。瓜割石庭公園はあまり期待してなかったが、写真では分からない岸壁の高さに圧倒された。またボランティアガイド(?)の方から高畠石採石場の歴史など、丁寧な説明を受ける事ができ望外の幸이었다。昼食後、松尾芭蕉ゆかりの立石寺に寄りプチ登山とお参りをし、世界平和と家族の健康を祈願した。最後に天童駅にある、将棋資料館で起源や歴史を学んだ。充実した観光となった。(記:天野)





## 6/26日(水)天童公園(鶴舞山)早朝散歩&銀山温泉観光 雨後曇り

### ■行動

5:30~6:30 早朝散歩(天童公園) → 8:30 宿(天童温泉ホテル王将)発 → 10:30 銀山観光センターP着  
→ (銀山温泉行マイクロバス) → 11:00~14:00 銀山温泉観光(入浴、昼食含む) → (マイクロバス)  
→ 14:30 銀山観光センターP発 → 15:00 山形空港着 ⇨ (飛行機 16:15発) ⇨ 17:25 小牧空港

最後の日、朝風呂の前に散歩しようと5:30に出発。空は怪しいと思っているとポツポツ降ってきた。人間将棋の会場となった天童公園へ向かう。なかなか急坂の連続で息が上がるも、30分ぐらいで頂上付近の会場到着。実際に人が指し手の指示で動きまわるのは、飛車・角の人は大変だろう?と思う。散歩から帰り、一風呂浴びて朝食を頂く。9時にJAの道の駅が開くとので、少し早い8:30に宿を立つ。ホテルの情報によると、今年は不作でJAぐらいしかサクランボが並んでいないだろうとの事。15分ぐらいで到着も、開店前に多くの人々が並んでいる。開店と同時に、皆がサクランボ売り場に殺到。我々も、やっとお土産のサクランボ等をゲットし、一足早く帰る天野さんを山形空港へ送った後、お目当ての銀山温泉観光へ。レトロな外観の大正ろまん館の立つ観光センターPへ到着。聞き込みをすると、車では銀山温泉の中心部へは行けないとの事。200円のマイクロバスで銀山温泉へ。川沿いに大正ろまんを彷彿させる旅館が並んで、ブラブラするだけで楽しそう。千と千尋の神隠しのモデル?とも言われるも、ネットで調べると宮崎監督曰く“モデルはない”との事。旅館街を通り過ぎ、銀山抗跡も見に行った。洞窟内は、中に入ると涼しい。安全に歩きやすい様に至れり尽くせりだが、見学は無料でできるのは嬉しい。せっかくなので瀧見館の露天風呂から滝見物。お腹も空いて美味しい蕎麦も満喫。大満足の1日を過ごし山形を後にした。(記:津田)



ねむの木



人間将棋会場



同一会場最多対局数ギネス記録



天童公園の頂上にて



大正ろまん館(銀山観光センターP)



銀山温泉 能登屋旅館(登録有形文化財)



銀山抗跡



銀山抗の中を見学中



瀧見館から見た滝(蕎麦を頂きながら)



銀山温泉入口にて



## 6. 特別寄稿

### 「朝日山の家」と大朝日岳の想いで

町田 修

『五月雨をあつめて早し最上川』芭蕉の句でもご存じの山形だ。蔵王・月山・朝日連峰の水を集め、山形平野をとうとうと流れ、庄内酒田・日本海にそそぐ。「朝日山の家」はその支流、寒河江川の左岸に立つ。北方に遠く月山を望み、ロケーションは素晴らしい。この宿、山形県西川町の大井沢集落にある「山」と「溪流釣り」の宿である。釣りのことは良くわからないが、宿の正面に「榎有恒」※1の看板が掲げている。室内の Mtg ルームにも榎有恒自筆の「朝日山の家」の看板がある。女将から話を聴くと、ご主人の先代が朝日連峰の主で、榎さんが朝日に来るときはいつもガイドを務めたことが縁で、宿を開業するに当たって榎さんに相談したところ、「朝日山の家」と命名してくれたそうだ。この宿はあの有名な登山家である榎さん所縁なのである。

紹介はそこまでで、私はこの女将さんに宿の予約を入れた際の対応で「朝日山の家」のファンになった。見もしない宿、そして見もしない女将さん（以後、お母さん）、電話での対応で、その人となり、宿の雰囲気なんとなく掴めたのだ。そして実際訪れた 6/21（金）大朝日岳登山口、古寺鉱泉偵察で立ち寄った時の印象が、私の期待感を十分に満たせる人だった。天気の都合で幸いにも「朝日山の家」に 2 泊した。不躰で騒がしく語る私たちに、お母さんはやさしく接してくれ、早朝のおにぎり相談にも柔軟に対応していただいた。朝夕の食事も多く

の盛り合わせではないが、心のこもった丁寧さが感じられた。過去数年、私たちは北は北海道から南は九州の、多くの山を多くの宿をベースに登山してきた。そして宿は山旅の寛ぎの場所で、明日への活力の場所でもある。このいくつかの宿、当たり外れも幾つかあった。幾つかの当たりの宿の中でも「朝日山の家」は、私的に Best5 に入る。勿論、お母さんの容姿や宿のゴージャスさを云うのではない。旅人への真摯な対応とその雰囲気を云いたいのだが……。また、訪れたい良い「宿」である。

さて、「朝日山の家」をベースに大朝日岳を登った。今山行の話はさておき、登山口の古寺鉱泉から一山超えて西側に、寒河江支流の根子川が有る。そのどん突きに「日暮沢小屋」がある。1982 年（S57 年）今から 42 年前、デンソー山岳部は夏山合宿で日暮沢小屋サイドに BC を置き、根子川支流の大朝日岳・西朝日岳・竜門山に突き上げる沢（石ヤラ沢・入ソウカ沢・赤倉沢）のゴルジュと雪渓の沢登りを 4 日間楽しんだ。そして、竜門山から寒河江山・以東岳へ縦走し鶴岡へ降りている。今回のメンバーにその時のメンバーは私以外いない。42 年経って、昔ほどの馬力も探求心もないが、一尾根隔てた同じ山域を未だに、愉快的仲間たちと大汗かいてヒューヒュー登っている自分をいとおしく思った。

※1 榎有恒（ありつね／ゆうこう）日本山岳会設立者・日本山岳協会初代会長・ヒマラヤの 8,000m 峰・マナスル第 3 次登頂隊長として日本隊のマナスル初登頂を成功させた。近代アルピニズムの開拓者。1917 年慶應義塾大学法学部を卒業後、1919 年年アメリカ・コロンビア大学留学中、2 年間ヨーロッパで過ごす。この間ロンドンでウォルター・ウェストンと面談し、スイスに滞在しアルプスをくまなく登山し、1921 年グリンデルヴァルトの登山ガイド 3 名と共にアイガー東山稜（ミッテルレグ）を初登攀する。その記念として 3 年後に 1 万スイスフランを寄贈してミッテルレグ小屋を作った。



宿から寒河江川を経て月山



## 山形観光つれづれ紀行

町田 修

6/22(土)、強行日帰り山行で大朝日岳を片付けたので、6/23(日)は「朝日山の家」の朝食をゆっくりいただく。釣り人の宿らしく毛鉤(けぼり)も置いてある。私もイワナ釣りを少々やるので3個ほど買い求めた。お母さんを真ん中に記念撮影し、次の山「祝瓶山」の麓の宿「白い森交流センター」に向け出発する。

道中、山形と言えば「さくらんぼ」ここをスルーする手はないと、上山市(山形チェリーランド)に参上する。未だかつて、サクランボを腹いっぱい食べたことはないが、これでもかと思えるくらいサクランボを食べる。そして「祝瓶山」の登山口偵察、この時点では皆さん登山の意欲はまだ十分にあった(たぶん)。

白い森交流センター夕食前のMTGで明日の祝瓶山、悪天予測で中止!の判断。されど、翌日の好天を期待し6/24の朝食は「おにぎり朝食」を注文する(3時起床4時発に備える)。この時点でも天気回復を期待しての祝瓶山TRY意欲は残っていた…?(私だけか…?)。早朝発の予定で頼んでいた「おにぎり朝食」をゆっくり食堂で食べる。もはや「小雨ぐらいなら登ろうか」などと、硬派ぶった意見など出ようもない。祝瓶山は紅葉の頃に…朝日山の家ベースで…またの機会に、ですね。



取り合えず、6/24(月)は「上杉博物館」と「米沢城址」見学観光へ。上杉博物館は何と云っても織田信長から上杉謙信に贈られたとされる、国宝「上杉本洛中洛外図屏風」筆者は桃山時代を代表する画家・狩野永徳(かのうえいとく)／今の時期はレプリカだが、春と秋には本物が見れるそう。それと上杉鷹山の改革をわかりやすく理解させる工夫を凝らしたシアター(約17分間)「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人の なさぬなりけり」…あの明石海峡大橋をかけた推進役の原田忠次郎の「人生すべからず、夢無くしては叶いません」を思い出してしまった。米沢城址は鷹山と、ゆかりの戦国武将たちの銅像を中心に展開されていた。中でもジョン・F・ケネディ元大統領のメッセージ「日本で最も尊敬する政治家はだれですか」の質問に対し、ケネディは「上杉鷹山(うえずぎようざん)です」と答えた。前大統領アイゼンハワー時代から始まった不況を打開するために、150年前の江戸時代、すでに倒産状態にあった極貧の米沢藩を立て直した鷹山を学んでいたのだ。娘で駐日大使だったキャロラインのスピーチ「父は、人は一人でも世の中を変えることができる、皆やってみるべきだ」を紹介している。今の政治家に是非とも聞かせてやりたい!!



市街地から山麓の白い森交流センターに近づくと雨が降りだした。山間部を中心にした悪天候は好転しそうもない。

6/25(火)、今日は移動と観光の日だ。祝瓶山に未練があるも、登山後の移動時間を考慮すると成立不可だ。行先は「とんでん平ユリ園」「瓜割(うりわり)石庭公園」高畠石の採石場、名ガイドの案内で面白く見学できた。メは山寺立石寺。山門から奥の院へは1,015段の石段を登って五大堂からの展望は三百名山の神室山1365m、祝瓶山と合わせて登りたいね。将棋会館を見学して天童市のホテル王将で宿泊。



6/26(水)、朝飯前に天童公園(舞鶴山)を散策。JA(道の駅)でお土産購入(勿論さくらんぼねらい/自分達だけ食べてはね)。その後、銀山温泉の銀山洞を歩き龍見館で露天風呂に浸かり蕎麦を食って山形空港から愛知へ。

今回は残雪と素晴らしい高山植物に会えた大朝日岳の一本釣りで終わった。が、味のある宿と山形ならではの観光も楽しめた愉快的な山旅だった。



# 大朝日岳で出会った花々 (2024年6月22日)

藤田勝啓

東北の山でしか見られない高山植物がある。早池峰山のハヤチネウスユキソウ、鳥海山のチョウカイフスマ、飯豊連峰のイデリンドウなどである。大朝日岳の薄紅色の可憐な花「ヒメサユリ」もその一つである。今回、ヒメサユリが最盛期で小朝日岳の鞍部から続く通称「ヒメサユリ街道」は花の回廊で圧巻でした。日帰りのスピード登山となり、ゆっくりと花見物とはいきませんでした。初夏に咲く馴染みの花々が疲れを癒やしてくれました。以下紹介します。



オダマキ



ノゴウイチゴ



ユキザサ



タニウツギ



イワカガミ



ミツバオウレン



ムラサキヤシオツツジ



ツマトリソウ



ゴゼンタチバナ



シラネアオイ



ウラジロウラク



ベニサラサドウダン





ハクサンチドリ



サンカヨウ



ツバメオモト



ヒメサユリ



ヒメサユリ



ヒメサユリ



シロバナニガナ



アカモノ



マルバシモツケ



ミヤマリンドウ



ミツバオウレン



ツクバネウツギ



オオカメノキ



ウラジロユウラク



シラネアオイ





ミヤマウスユキソウ



ミヤマウスユキソウ



マイヅルソウ



ミヤマアキノキリンソウ



ズダヤクシュ



アオノツガザクラ



チングルマ



ギンリョウソウ



イワカガミ

見た場所	花名
古寺鉱泉登山口	オダマキ
ハナヌキ分岐	マイヅルソウ、オオカメノキ、ノウゴウイチゴ、タニウツギ、ムラサキヤシオツツジ、ツマトリソウ、ツクバネウツギ、ツバメオモト、ミツバオウレン
古寺山	ウラジロヨウラク、ベニサラサドウダン、ハクサンチドリ
小朝日岳鞍部	シラネアオイ、サンカヨウ、シロバナニガナ、ギンリョウソウ、ヒメサユリ、
銀玉水	アオノツガザクラ、アカモノ、マルバシモツケ、ミヤマリンドウ
大朝日小屋	チングルマ、ミヤマウスユキソウ、ショウジョウバカマ



## 7. 参加者の所見と感想

### <金子 CL>

おやじの山旅 9年目を迎えた。

今回は東北の山、大朝日岳、祝瓶山(いわいがめやま)の2座を計画した。

大朝日岳は翌日の悪天が予想され日帰り登山に変更し、皆さんの頑張りで登頂することができた。

祝瓶山は予備日を含め2日間に渡り登る準備をしていたが生憎の悪天で2日とも断念する結果となった。

またの機会に祝瓶山はとっておくことにした。その足で朝日山の家にも泊まりたい・・・と言う声も・・・。

そんなことで、登山は大朝日岳の一日となったが余裕ができたことで上山観光フルーツ園でのさくらんぼ狩り(上市市)、米沢市上杉博物館・上杉神社、とんでん平ゆり園(飯豊町)、瓜割(うりわり)石庭公園(高島町)、宝珠山立石寺(山形市山寺)、天童市将棋会館・舞鶴山山頂公園(人間将棋会場)、銀山温泉(尾花沢市)の観光を楽しむことができた。

今回はレンタカーを利用した長距離運転となったが運転手を交代しながら安全運転に努めた。

次回(2024年10月)も今回同様にしっかりした計画・準備で楽しい山旅を続けていきたい。

【金子記】

### おやじの山旅 履歴

No.	年	期間	山域	主な山(標高)	参加人数
1	2016	6/25~7/3	北海道の山(道央・道南)	羊蹄山(1898m)	13
2	2017	6/24~7/2	北海道の山(道東)	羅臼岳(1660m)	12
3	2018	6/30~7/8	北海道の山(大雪)	トムラウシ山(2141m)	13
4	2019	6/22~6/30	北海道の山(道北)	利尻山(1719m)	13
5	2020	8/22~8/30	東北の山(南部)	磐梯山(1819m)	11
6	2020	10/16~10/25	東北の山(北部)	岩手山(2038m)	10
7	2021	10/6~10/14	関東の山(北部)	谷川岳(1977m)	8
8	2022	5/25~6/2	九州の山(北部)	阿蘇山(1592m)	9
9	2022	10/12~10/20	関東の山(南部)	浅間山(2568m)	9
10	2023	5/24~6/1	九州の山(南部)	宮之浦岳(1936m)	8
11	2023	10/8~10/13	中国の山	大山(1709m)	11
12	2024	4/21~4/26	四国の山	石鎚山(1982m)	6
13	2024	6/21~6/26	東北の山(南部)	大朝日岳(1871m)	8

### <天野 会計担当>

会計：特に問題なし

感想：

- ・大朝日岳は日帰りにしたため歩行時間が長くなり少し疲れたが、みんなが無事に下山できて良かった。
- ・さくらんぼ狩りは初めてだったし、とても美味くて満足した。
- ・観光も想像してたより充実して、皆さん満足して頂けたと思っている。



<竹内 気象&写真担当と感想>

気象担当：雨雲レーダーと行動

6/21 (金) 曇り 移動日



6/22 (土) 晴れ 大朝日岳



6/23 (日) 雨 移動(サクランボ狩り)



6/24 (月) 雨 観光(上杉博物館)



6/25 (火) 雨 移動(天童)



6/26 (水) 曇り 移動日(帰宅)



6/21 名古屋から山形空港への移動日。

6/22 天気予報から大朝日岳の山行を一泊二日から日帰りに変更して、雨を避ける。

おかげで、晴天の中で大朝日岳に登頂、下山する事ができた。

6/23 雨の予報が当たり、予定外の観光(サクランボ狩り)を楽しむ。

6/24 朝から雨。祝瓶山は登山中止。予定外の観光(上杉神社)を楽しむ。

6/25 予定通り観光を楽しみながら天童市に移動する。

6/26 山形空港から名古屋空港に移動、帰宅する。

(今回は、天気予報の雨予測から山行期間の変更、登山計画の中止の判断をして無理しない行動ができました。)

写真担当

晴天の中で、大朝日岳にのぼることができ、写真もそれなりに撮ることができて良かった。

感想

大朝日岳に登る日が晴天で本当に良かった。天気予報から日帰りに変更したのも良い判断だと思いました。

体力は以前に比べて落ちてきたと思いながらも頑張って歩き、無事に下山する事ができました。祝瓶山は天候が雨のため中止になりましたが私にとっては嬉しかったです。仲間の皆さんが付度してくれたおかげだと感謝しています。これからも元気に登れるように体力維持に努めようと思います。



### <津田 記録担当>

今回は大朝日岳だけは登れたが、祝瓶山は断念せざるを得なかった。天候が悪すぎたせいで仕方ない。

6月22日；山旅が近づいても天気予報が改善する事なく、大朝日も2日間かけて楽しくのんびりと登る計画であったが、2日目の雨予想から1日での日帰りピストンを皆で選択した。当然のことながら、行動時間12時間20分の超ロング山行となった。安全面と快適な登山を考えての事だが、大変な登山となってしまった。下山時に頂上近くの水場（銀玉水）で、油断で水分補給を怠り、水不足気味になってしまった事は反省点かな？ 古寺鉱泉の登山口まで1hぐらいの一服清水で補給が出来て助かった。

6月23日；大朝日が1日で片付き、次の日は小雨模様ながら、初体験のさくらんぼ狩りを楽しみ、腹いっぱいさくらんぼを頬張ることができて、大満足であった。

6月24日；祝瓶山は、一縷の望みから、朝食代わりの弁当を頼んだが、目覚めると雨脚も強くあきらめもついた。連泊だが、明日は移動時間も長く登山不可だ。という訳で、祝瓶山登山は中止となってしまった。米沢市観光へ変更し、上杉博物館見学と米沢城跡散策で1日を過ごした。有意義な1日となったと思う。

6月25日；この日は、元々が移動&観光の日だ。とんでん平ゆり園、爪割石庭公園、定番の山寺の立石寺を廻りながら天童市へ移動し、将棋会館を見学。爪割石庭公園は、特に興味をひかれた。

6月26日；今日は帰りの日。朝一で、人間将棋の会場となる天童公園を散歩し、一足早い便で帰る天野さんを空港まで送った後、念願の銀山温泉を観光した。銀山抗跡も見学した後、銀山温泉の露天で6日間の旅の疲れを癒すことができた。

以上、山旅というより、おやじのやじきた旅とでも言えそうな旅であったかな～

### <上田 記録副担当>

今回の親父の山旅は連日雨の予報となっていた。最初の1日の晴れを生かして、2日間の計画で登る予定の大朝日岳を1日でピストンすることとなりました。体調には不安があったが、全員の合意で早朝から登り始めた。上りはほぼ計画通り6時間で登れたが下り始めると、さすがに足の指や膝に痛みが出て、時折、靴を脱いで指を解放するとまた歩けるようになった。12時間の長丁場は最近歩いていないこともあり、苦しかった。長年の仲間の思いやりやリーダーの優しさで完登出来、感謝しています。

もう一つの祝瓶山は、雨で中止となった。その代わりに、今回は日頃行くことのない、ゆり園や山寺、石切場などたくさんの観光地を回ることができ、私としては有意義な山旅でした。

### <津田 利栄子さん>

今回は、天気にご縁がなく貴重な1日だけの晴天の日に、2日かけて登る筈だった大朝日岳を登ることができました。最後までついて行けるのかと心配でしたが、無事に登ることができ、いつものことですが、おやじの皆様方に感謝あるのみです。

でも、初めてのさくらんぼ狩りはよかったです。又、行きたいと思いながらも、なかなか行けない観光地へも行く事ができ、私は雨でも楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。



参考；会計報告

項目	金額(円)	備考
宿泊費	379,160	全日程 6 日間参加(5 泊);47,395 円/1 人
ドリンク代等	26,390	
交通費	122,451	全日程参加者 15,306 円/1 人
(レンタカー代)	(101,998)	交通費に含む
(ガソリン)	(14,493)	交通費に含む
(高速代+駐車料+他)	(5,960)	交通費に含む(高速代;1, 820 円 駐車場代;1,500 円 博物館代;2,640 円)
合計	528,001	

【編集後記】

9年目の山旅 第2弾6月編「東北の山(南部)」が終わった。大朝日岳登山を中心に計画されたものだが、結果は大朝日岳しか登れなかった(計画した2座の内、祝瓶山は天候の為、登山中止)。

しかし、山以外の観光も、興味がそそがれる内容となったのでは・・・と、思うのは、自画自賛であろうか？おやじの山旅の構成員も、毎年、齢を重ねていく。今後を考えると、山よりも観光の比重が増えていくかもしれないな～とも、思ったりするのである。まあ～、それでもいいか？とも、思う次第である。

来年の10年目で、一つの区切りを迎えます。10年後から、おやじの山旅がどうなっていくのだろうか？楽しみでもあるが、全くの不明である。